

第7回都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定委員会 事前質問と回答

| 質問番号 | 該当資料       | ページ      | 質問内容   | 回答  |
|------|------------|----------|--|---|
| 1    | 資料1        | 20、21    | 将来都市像の「未来に向かって…」がP20、P21で違う。また、第2次総合振興計画とも違う。変えた理由は、また、統一する場合どれに統一するのか。  | 事務局案は、P20の「未来に向かって人や地域がまとまり・つながるまち くまがや」です。P21及び資料2市街化調整区域の整備及び保全の方針のP3は誤植です。なお、総合振興計画にも将来都市像がありますが、まちづくり分野の計画としてよりの確な都市像を示す必要があると考え、新たに設定したものです。                 |
| 2    | 資料1        | 47<br>ウ② | 自転車利用として、主にスポーツ…観光での利用としているが、通勤、通学等での利用は。また、この場合の自転車道の整備は。   | 自転車道に関しては現在、自転車通行空間ネットワーク計画の作成を進めておりますが、市内の見どころを巡るだけでなく、市街地においては通勤、通学での利用も前提としたネットワークを構築する計画としています。   |
| 3    | 資料1        | 50<br>イ④ | 「都市基盤が整った駅周辺」とは、地域別構想と対応させると西部地区の籠原駅周辺が該当するので、駅周辺→籠原駅周辺としたほうが良いと思う。  | 地域別構想では西部において関連する記述を行っていますが、熊谷駅周辺等にも適用する考え方であるため、このままとします。  |
| 4    | 資料1        | 全体       | 前回の熊谷市都市計画マスタープラン（素案）と比較して、各イメージ図において、追加された部分は<br>① 暮らしを支えるエリア・コミュニティ拠点<br>② 新たなまちづくり検討エリア<br>③ 産業誘導ゾーン<br>この3点か。<br>また、変更された部分は<br>① 都市づくり→まちづくり<br>② コンパクト&ネットワーク→コンパクトプラスネットワーク<br>③ 子どもたちの笑顔があふれるまち熊谷 ～輝く未来ヘトライ～<br>→ 未来に向かって人や地域がまとまり・つながるまち くまがや<br>その他にも変更点はあるのか。 | 細かな言い回し・表現といった部分の修正は多数ありますが、元の主旨が変わらないように留意しながら修正を行っております。<br>なお、ご意見の箇所を含め主な変更点については、説明をさせていただいたとおりです。  |
| 5    | 資料1<br>資料2 | 全体       | 資料2はマスタープランの一部であり、資料1の章又は部分と考える。立地適正化計画も同様と考える。最終的なマスタープラン全体の項目の組み立て、章の構成について説明をお願いしたい。  | 都市計画マスタープランの3ページに示したとおり、市街化調整区域の整備及び保全の方針は、マスタープランの1つの章（第7章）として作成する予定です。<br>なお、立地適正化計画についてはページ数も多く、マスタープランと合わせた1冊の計画書としてまとめることは適切ではないと考えており、それぞれ別の計画書として作成する予定です。 |
| 6    | 資料2        | 19       | スポーツ・文化・健康拠点＜対象地＞は、正式名称とした方が良くと思う。<br>③ 熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」<br>④ 国営武蔵丘陵森林公園<br>（資料1、配置イメージ図中の表記も同様）  | ご意見を踏まえて修正します。  |